

令和3年度横浜市在宅医療を推進するための市民啓発事業

<会場来場>と<インターネットライブ中継による>

入場無料

市民啓発シンポジウム「人生の最終段階について考える」

日時：令和3年12月3日（金）14:00～16:30（開場13:30）

会場：横浜市健康福祉総合センター4階ホール

住所：神奈川県横浜市中区桜木町1-1（最寄駅：桜木町駅）

来場100名
事前申込制

『もしものときに備えて

～認知症になったら胃ろうをどうする？～』

- | | | | |
|-------------------------------|-------------------|-------|----------|
| ・ご挨拶 | 横浜市医師会 | 会長 | 水野 恭一 氏 |
| | 横浜市医療局 | 局長 | 修理 淳 氏 |
| ・シンポジウム | （座長）横浜市医師会 | 常任理事 | 赤羽 重樹 氏 |
| 「認知機能の低下と食行動」 | （医）志朋會 樹診療所かまりや | 院長 | 山田 朋樹 氏 |
| 「胃ろうとリハビリテーション
～嚥下障害を中心に～」 | 横浜なみきりリハビリテーション病院 | 言語聴覚士 | 廣瀬 裕介 氏 |
| 「もしものときに備えて
～胃ろうをどうする？～」 | 横浜市立大学総合診療医学 | 准教授 | 日下部 明彦 氏 |

いつか必ず誰にも人生の最終段階はやってきます。私たちも、家族も口からものが食べられなくなる日がきます。私たちは、医師から「胃ろうをしますか？」と尋ねられたときにどのようなことを考え、判断をすればよいのでしょうか。これはとても難しい選択になります。きっとこの講演会がヒントの一つになるはずです。

<ライブ中継>

講演の様子は同じ日程でインターネットにてライブ中継を行います。事前申込は不要です。

ライブ中継アドレスは、横浜市医師会ホームページ（下記アドレス）にて当日発表致します。

<http://www.yokohama.kanagawa.med.or.jp/>

<来場申込>

対象：一般市民、在宅医療を担う医療関係者等、どなたでもご参加いただけます。（手話通訳あり）
来場者100名【事前申込制：左記QRコードからか、FAX申込書（裏面）よりお申込み下さい。参加証をメールもしくはFAXで送付します。応募者多数の場合抽選し、11月下旬頃に連絡します】

主催 一般社団 横浜市医師会、共催 横浜市医療局
〈お問い合わせ先〉一般社団法人 横浜市医師会
横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター7階
TEL：045-201-7366 FAX：045-201-8768

↓来場申込フォーム



F A X 送付先 045-201-8768

市民啓発シンポジウム

「もしものときに備えて

～認知症になったら胃ろうをどうする？～」

来場申込書

日時：令和3年12月3日（金）14時00分～

会場：横浜市健康福祉総合センター4階ホール

来場参加を希望します（希望人数 名）

【代表者】

氏名（必須） _____

ふりがなしめい（必須） _____

電話番号（必須） _____

FAX番号（FAX・メールどちらか） _____

メールアドレス（FAX・メールどちらか） _____

注意：本公演は感染症対策を行った上での講演となります。当日、体調不良や発熱がある際は、入場をお断りする場合がございます。不調を感じた際は、ご無理をせず、参加を取りやめて下さい。講演会は撮影されyoutubeで公開されます。やむを得ず、画面に映ることもございますので、ご了承願います。